

# 対談 医師×薬学生

医療系のテレビドラマを見て、患者の命をチームで救う世界に憧れを抱いた薬学生は少なくないでしょう。しかし、そのチームの中に薬剤師はいたでしょうか。医師や看護師が主人公のドラマはあっても、薬剤師が主人公のドラマは見たことがありません。医療の担い手として患者の救命に貢献できる職種であるにも関わらず、ドラマに取り上げられないのは非常に寂しいことです。その原因はどこにあるのでしょうか。将来、超高齢社会の中で薬剤師として地域を支えるのは今の薬学生です。これから薬剤師の仕事にドラマチックなものにするために必要なことを、医師であり薬局も経営されている、ファルメディコ代表取締役社長の狭間研至先生にお聞きしました（日本薬学生連盟2016年度広報統括理事＝小池雄悟：立命館大学4年、広報部＝矢野光海：神戸学院大学3年）



代表取締役社長  
ファルメディコ

## なぜ薬剤師が主人公のドラマがないのか

決断を伴う場面が少ない

——医師や看護師、最近では介護職をテーマにしたテレビドラマもあるのに、なぜ薬剤師が主人公のドラマはないのでしょうか。

そもそもドラマは、ドラマチックな場面がなければ作れません。端的に言えば、今の薬剤師の仕事にはドラマチックな場面が少ないからだと思います。ドラマチックな場面には必ず、決断が伴います。時限爆弾のタイマーがどんどん進んでいく場面を思い浮かべてくだ

さい。赤か青かどちらの線を切断すればいいのか、決断を迫られますよね。赤だと決めて切断し、爆発まで残り1秒のところまでタイマーが止まる。それがドラマチックな場面の典型例です。現在の薬剤師の仕事にどれだけ決断を伴う場面があるのでしょうか。理由はそこにあります。

——なぜ、決断を迫られる場面が少ないのでしょうか。

理由は2つあります。ひとつは薬を

正しく入手できることは、多くの人にとって極めて大事なことです。薬剤師は、薬の量も種類も正しく出してくれるし、説明もしてくれる。それが薬剤師の仕事だと世間は認識しています。薬剤師に決断を求めているません。

もうひとつは薬剤師の側から見ても、薬を正しく調剤して渡していれば、それだけでその仕事に対して給料が出ます。今のまま仕事を続けていけば、それで家族も養えるし、会社も大きくなります。お金は人生において最も大事なものではありませんが、最も大事なもののひとつではあるので、われわれはその影響を大きく受けます。大きな決断を下さなくても、薬剤師として日々の仕事をこなして給料をもらえる環境があるわけです。

疑義照会はしますよ。疑義照会は義務ですから当然しますよね。でも、義務は果たしたからもう自分に責任はないということではないのでしょうか。責任の裏表は決断です。責任を取らないということは、決断していないということですよ。もし薬剤師が医師に「先生、これをこっちの薬に変えた方がいい

いのではないですか」と言って、その通り処方の変更されたとします。ここには薬剤師の決断があります。それで患者さんが亡くなったら当然責任の一端は薬剤師にもあります。しかし現状は、そのような決断にまで踏み込まず、従って責任も負わないという薬剤師が少なくないのではないのでしょうか。決断がない職場にドラマはありません。

ただ薬剤師も「モノ」の責任は取っています。2錠出さなければいけないのに3錠出していたら、薬剤師の責任です。現在はモノへの責任にとどまり、対人の責任まで取れていない薬剤師が多いことに帰着すると思います。

——薬局の実務実習に行った先輩からも、行く前に思い描いていた仕事と

は違ったという声をよく聞きます。

私もある薬学生から聞いた話ですが、実務実習先の薬局で処方に疑問を感じたので、疑義照会する必要はないかと指導薬剤師に言ったところ、「医師がそれでいいと言っているのだから、しなくてもいい」と言われたらしいです。

薬局には様々な事情や背景があって、そうせざるを得なかったのかもしれませんが、そんなことでは薬学生もびっくりしますよね。

狭間 研至氏に聞く

### 薬局を問題解決の場所に

——ただ「かかりつけ薬剤師」や「地域活動」も診療報酬の対象に加えられ、全体的に変わってきてはいますよね。

そうですね。あれはよく考えられた

ものだと思います。「これ、ください」「はい、どうぞ」という形ではなく「あそこにいけば何か問題が解決する」という形になってきています。問題が解決するというのが「機能」ということだと思います。

医療における患者さんの問題って、



マツキヨが目指す先

地域医療と連携した「かかりつけ薬局」を推進していきます。

☎0120-047-300

<http://www.r-matsukiyo.com/>

株式会社 **マツキヨ** ホールディングス  
<http://www.matsumotokiyoshi-hd.co.jp/>

あなたにとっての、いちばんへ。  
**1st for You.**